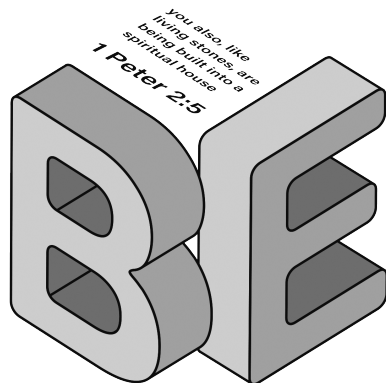


YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。

(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/11/17(月)

エレミヤ 42章

●軍の全ての高官たち、カレアハの子ヨハナン、ホシャヤの子イザンヤ、身分の低い者も高い者はエレミヤに、自分たちのために祈るようお願いした(1-3)。彼らは主の言葉に対してどう行動すると言っているだろうか(6)。

●神様の答えはどんな回答だっただろうか(11-17)

★イスラエルの民は、「神様に祈ってください」と言って一見信仰深い。しかし、心のどこかで、エジプトの援助を求めている。私たちも、祈る時に神様のみこころを求めて信頼して待つ“みこころ信仰”ではなく、自分で動いてしまったり目に見える助けを求めたり、自分の願いが実現するように祈る“おこころ信仰”になっていないだろうか。そういったことがあれば、神様の前に正直に告白して悔い改めよう！

2025/11/18(火)

エレミヤ 43章

●ユダの指導者たちは、前の章でエレミヤに「主の御声に聞き従います」(42:5,6)とはっきり答えた。

・・・しかし実際にエレミヤを通して語られた彼らの反応はどうだっただろうか？

●今日の箇所を通して、神様が僕らに教えようとしていることは何だろうか？

●神様のみこころを求めながらも、自分の心の底にある願望を優先していたり、都合よく神様のみこころだと判断してしまっていることはないだろうか？自分の心の弱さを認めつつ、へりくだって神様に心を向けて祈ろう！

2025/11/19(水)

エレミヤ 44章

●2-6節で神様は、ユダ王国の滅亡の原因は何だと語っているだろうか？

●神様はエジプトに残ることが滅びに至る道だと宣告された。それに対して人々はどう答えているだろう。16-19節を読もう。

●愚かにも本当の神様を捨ててしまった民に、最終的にどちらのことばが成就するかを知ると神様は語る(27-30)。しかし、知った時(滅びた時)にはもうすでに遅いのだ。信仰は目に見えないものを確信させるものだとある。いつか、ではなく、今信じて神様に応答しよう。

2025/11/20(木)

詩篇 87篇

●神様はどこを愛されているかな？2節

●『私の泉はみな、あなたにあります』と言ってるのはだれかな？7節

この箇所は全世界の人が神様を礼拝することを予告してる箇所だよ。『シオンの門』とはエルサレムのことだよ。神様はイスラエルとエルサレムも愛していたんだ。4節に書いてあることは異邦人も礼拝するようになることが書かれているよ。最後は『歌う者も、踊る人も』全世界の人がエルサレムに向かって礼拝するようになるんだ。ここから普段の礼拝について祈ってみよう！礼拝できることや牧師先生への感謝、わからないことがあったらわかるように！

2025/11/21(金)

詩篇 88篇

●この詩人はいつ祈っていたかな？1,13節を読んでみよう。

●詩人はとても苦しんでいることが分かるね(14,15節)。どうして彼は祈り続けることが出来たんだろう？考えてみよう。

●神様に祈っても、すぐに状況は変わらないかもしれない。それでも、神様が祈りを聞いていると信じていたからこの詩人は祈り続けられたんじゃないかな。

君は自分の祈りについてどう思う？

2025/11/22(土)

エレミヤ 45章

今日の箇所は昨日の44章から約20年前にエレミヤのことばを記したバルクという人に語られたことば。

バルクが痛みと悲しみで嘆いていた時に、それ以上に神様が心を痛めていることを知ったんだ。そして、神様はすべてのものにわざわいをくだそうとしていること、だけど彼のいのちを守ることとも語られた。

エジプトがバビロンに負け、世界が滅びようとしてる中でも、一人のいのちに神様はちゃんと目をむけてくださるお方なんだ。

・私のいのちに目をむけてくださっている神様の愛を受け取ろう！

・そして私たちはこのいのちが地上の人生の先にもあることを知っている。それをしてくださったイエス様の救いと天国の約束を覚えよう！

2025/11/23(日)

エレミヤ 46章

この当時のエジプトは勢いがあって、バビロンの王ネブカドネツアルと対峙するくらいに力をつけていたよ。それでユダはエジプトを頼りにして、神様からのことばを軽んじていたんだ。(エホヤキムが巻物を燃やしたことを思い出そう)今日の箇所では、エジプトと、エジプトにより頼む者たちがどうなると語られているだろうか。

だけど、神様はご自分の民を滅ぼし尽くすことは望んでおられなかったことが分かる。26-28節を読んでみよう。罪から離れて神様に立ち返るために、神様は子どもを叱ったり訓練する天の父なる方なんだ。そのような神様であることを思い巡らしてみよう。